

# 民主党 平成22年度予算事業仕分け

2010. 2. 19, 22

## 1班

(予算額単位:千円)

No.	事業名	予算額	担当部局	結果	理由
111	税トータルシステム再構築包括的外部委託	129,600 (2,010,000)	総務部	県(要改善)	納税者のニーズに応えるためにも、税システムをつくるのならば、市町村に委託している県民税の情報も入れるべき。
112	消防防災施設強化事業	170,000	〃	県(要改善)	消防団の役割について、あり方を再考すべき。事業費別で予算配分するのではなく、他の事業と一括で補助してもよい。
113	電子調達システム運用事業 電子申請・届出システム運用事業 電子申請・届出システム整備事業	192,495 52,444 (210,000)	〃	県(予算どおり)	
121	ちばの地域力向上・タイアップ事業	8,000	総合企画部	不要	市町村が行っているような事業であり、具体性に欠け、中途半端。
122	千葉の魅力発信推進事業	140,000	〃	県(要改善)	国体の宣伝も含むとすれば、今年度に重点をおくべき。また内容の具体性にも欠けるので、精査が必要。
123	広報用DVD製作委託事業	7,000	水道局	県(要改善)	業者に丸投げのためか、内容に工夫が見られない。再編集も含めた見直し。
171	住まいの耐震化サポート事業	40,000	県土整備部	県(要改善)	耐震改修は重要だが、周知が図れていないため、執行率が低い。より危険地域を、重点的に対策を図るべき。
172	景観形成事業	5,824	〃	市町村	県の景観に対するコンセプトがしっかりしていない。市町村でよい。
173	金田西地区土地区画整理事業	1,302,818	〃	県(要改善)	事業見通しが甘く、本来なら撤退すべき事業かも。盛土をしても護岸より低い地域もあり、課題。
161	水田自給力向上対策事業	132,000	農林水産部	県(予算どおり)	
162	地域農業水利施設ストックマネジメント事業	60,563	〃	県(予算どおり)	
163	耕作放棄地活用推進事業	30,000	〃	県(予算どおり)	

## 2班

(予算額単位:千円)

No.	事業名	予算額	担当部局	結果	理由
231	健康県ちば宣言推進事業	1,300	健康福祉部	民間	今年度で縮小の方向性が出ており、役割りは終了している。民間の協議会のほうが効果的。
232	公衆浴場経営基盤安定化補助金	8,800	〃	県(要改善)	目的に沿った手法の再設定。全国の都道府県で運営費補助は6件のみで、他は設備補助など。補助金前提で営業している可能性もある。
233	エイズ予防啓発事業	12,123	〃	県(要改善)	手法の再設定。同性愛者に近い団体の活用や、マスメディア対応は国に任せる、等。
241	産業廃棄物不適正処理箇所支障除去事業	102,000	環境生活部	県(予算どおり)	
242	プロに学ぼう「器楽クリニック」	2,000	〃	県(要改善)	教育委員会の事業と重複している。やり方や事業主体の変更も検討すべき。
243	県立文化会館管理運営事業	619,173	〃	県(要改善)	営業努力や、命名権の活用などにより、自主財源の確保を。
251	日本コンベンションセンター国際展示場事業	4,483,553	商工労働部	県(要改善)	事務の効率化や自主財源の確保等、一般会計からの繰入金を減少させる努力を。
252	地域と連携した商業活性化事業	32,000	〃	県(要改善)	目的をより明確に。イベントへの補助など継続性が問われる補助は見直すべき。
253	かずさアカデミアホール事業	501,758	〃	不要	根本的に見直すべき。委託料の見直しや、地元市負担も検討を。
281	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業	152,500	教育庁	不要	全額国庫補助事業であるが執行率が低く、予算ありきとなっている。効果に疑問もあり、国の改善を求める。
282	特別非常勤講師配置事業	19,615	〃	県(要改善)	環境生活部の事業と重なっている部分がある。市町村のほうが効果的かも。
283	「県民マラソン(仮称)」調査事業	5,000	〃	不要	アクアラインの活用ありきとなっている。採算性に疑問もあり、まずは庁内議論を。